

おはようございます。

現在、午前9時30分。快晴。心地よい風が吹いています。

朝食終えて、学習中かな？

今日の「富山新聞」朝刊に掲載されていた「流行病（はやりやまい）の北陸史」を読みました。内容は、スペイン風邪の教訓についてです。この風邪の流行には「第1波」と「第2波」があり、第2波は大正8年末～9年春に訪れ、現在と同じくマスクが品薄状態になったとのこと。

さて、新聞では、疫学者の立瀬剛志さん（富山大学学術研究部医学系助教授）によるコロナと向き合うヒントが語られていました。

「『利己的自粛』ではなく『利他的自粛』を心がけたいと思います。」

以下、新聞記事内容を紹介します。

「利己的自粛」とは「自分さえコロナにかからなければいい」との姿勢である。外出している人を攻撃するといった「自粛警察」と呼ばれる行為も、「利己的自粛」に入る。こうした行為をいくら繰り返しても不安は消えず、むしろ増幅するばかりだと立瀬さんは指摘する。

一方「利他的自粛」では他者を思いやり、「自分がかかって他の人にうつすことのないように」と考えて手を洗い、マスクをつけ、3密を避ける。お互い様の心で、それぞれが対策を実践し、感染拡大を防ぐ。地域の飲食店を支えるためテイクアウト商品を買うなどの行動も「利他的自粛」だろう。

（以下、略）

各人ができる範囲で、コロナに負けない社会をつくるために行動しましょう。登校日に向けての準備、抜かりなく。